

課題

- 高齢者の路線バスでの移動にかかる経済的負担と高い助成ハードル

- 利用者、事業者、行政の割引施策遂行にかかる事務負担

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- エリア内の鉄道及び路線バスに加え、タクシーやシェアサイクルを含めた経路検索と、マイナンバーカード情報に基づいた路線バスでの高齢者割引が可能なMaaSアプリを導入する。
- 経路検索は交通モードの遅れ情報を反映したリアルタイム経路検索とする。

[モビリティ・データの取得と活用]

- エリア内のバス事業者から共通IDが付与された利用実績(ODデータ)を取得する。
- ODデータの分析結果を踏まえ、今後割引率等、コンテンツのブラッシュアップとして活用する。

[地域交通政策等との連携]

- 令和3年度～令和8年度の6年間を対象とし、「誰もが利用しやすい公共交通環境の整備」等を目標に掲げた地域公共交通計画を策定の上、MaaS実現に向け、令和6年6月28日に越谷市新モビリティサービス協議会を設立した。MaaSアプリから取得したODデータや利用者情報を活用し、サイクル&バスライドの拡大に向けた駐輪場の必要性や可能性の検討など、持続可能な交通ネットワークの形成に活用する。

効果

- 高齢者等による公共交通を利用する回数の増加
- 路線バスでの交通系ICカード認証基盤の構築により、持続可能な交通ネットワークへの参考となる利用データの収集が可能

事業の新規性

- 越谷市エリアでは、これまで様々な交通モードを統合したMaaSアプリは存在しなかったが、本事業によりシェアサイクル等地域特情を踏まえたMaaSアプリを実装する。
- マイナンバーカードと交通系ICを連携することにより、簡易なUXによる割引サービスを実現する。

事業エリア/交通事業	事業エリア:越谷市/ 鉄道:JR東日本、東武鉄道、バス:朝日自動車、茨城急行自動車、ジャパントローズ シェアサイクル:OpenStreet
MaaSアプリ等	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSプラットフォーム:モビリティ・リンケージ・プラットフォーム(JR東日本のプラットフォーム) ● フロントエンド:スクラッチ開発 ● マイナンバーカード認証:mytap(TOPICが運営する本人認証アプリ) ● 経路検索機能:mixway API(ヴァル研究所の経路検索) ● シェアサイクルシステム:HELLO CYCLING(Open Streetのシェアサイクルアプリ) ● ダッシュボードシステム:Google Looker Studio
データの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの取得方法: MaaSアプリから利用者情報、バスのODデータを車載システムから取得 ■ データの活用方法: ODデータをLooker Studio上で可視化し、持続的な交通ネットワーク形成に活用

座組

スケジュール

